

「土質試験 基本と手引き 第2回改訂版」正誤表(2010年6月7日掲載)

page	行位置	誤	正
p.24~	式(3.10)~(3.15)をはじめとして多数の箇所	分数式の横線が分離(印刷ミス)	横線をつなぐ。例えば、 $\frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1+e} \rightarrow \frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1+e}$
p.24	式(3.13)	$\dots = \frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1+e} \frac{\rho_s + e \frac{S_r}{100}}{1+e}$	$\dots = \frac{\rho_s + \frac{m_w}{\rho_s}}{1+e} = \frac{\rho_s + e \frac{S_r}{100}}{1+e}$
p.36	下から8行目	比重浮ひょう理論	密度浮ひょう理論
p.37	上から8行目		
p.45	右補足欄の文献2)	2) 田中洋行・榊原基生：港湾地形における土の一次的性質の・・・	2) 田中洋行・榊原基生：港湾地域における土の一次的性質の・・・
p.64	上から6行目 設問3)	・・・乾燥密度 $\rho=1.515\text{g/cm}^3$ であるとき・・・	・・・乾燥密度 $\rho_d=1.515\text{g/cm}^3$ であるとき・・・
p.72	3. の右補足欄	試料土の粒径が表-9.1の許容最大粒径を越える粗粒分を含む場合には、・・・	試料土の粒径が表-9.1の許容最大粒径を超える粗粒分を含む場合には、・・・
p.77	6.3の右補足欄	・・・礫の混入率が40%を越えるとこの仮定が成り立たなくなり、・・・	・・・礫の混入率が40%を超えるこの仮定が成り立たなくなり、・・・
p.79	図-10.1の左上	用具の準備	器具の準備
p.85	下から4行目	・・・貫入ピストンの断面積(0.1964m ²)で除したものを荷重強さ(MN/m ²)という。	・・・貫入ピストンの断面積(19.64cm ²)で除したものを荷重強さ(MN/m ²)という。
p.87	図-10.5 下部	CBR ₃ 及び h ₃	CBR _n 及び h _n